

経営比較分析表（令和4年度決算）

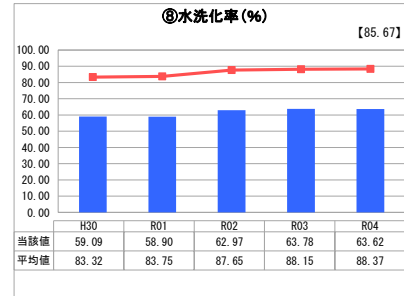
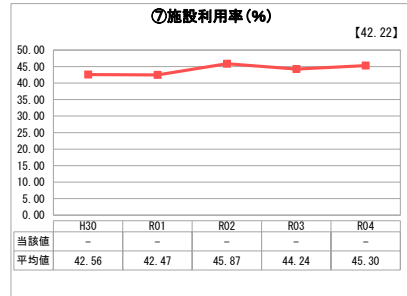
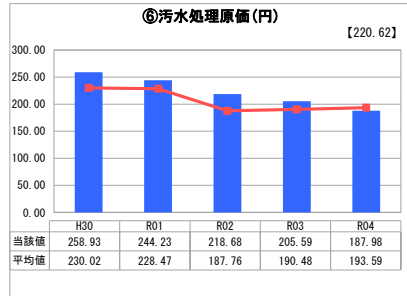
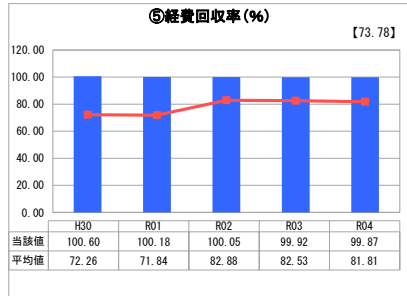
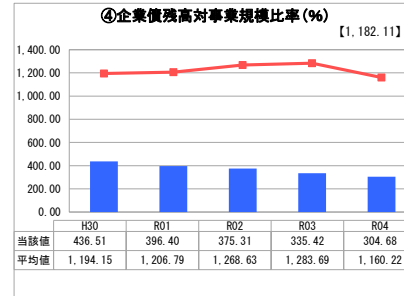
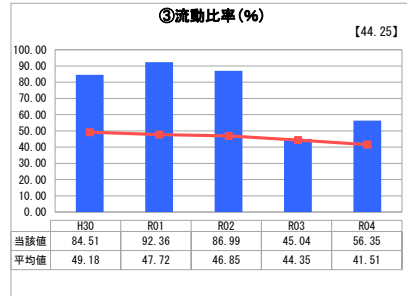
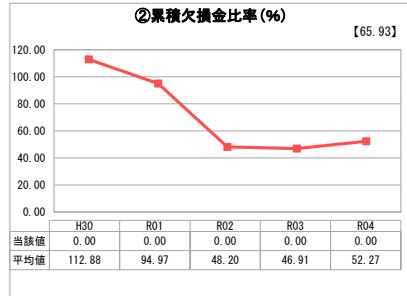
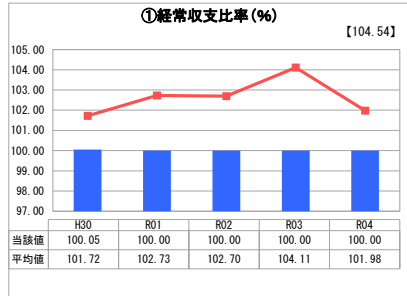
千葉県 佐倉市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	90.75	0.84	82.37	2,472

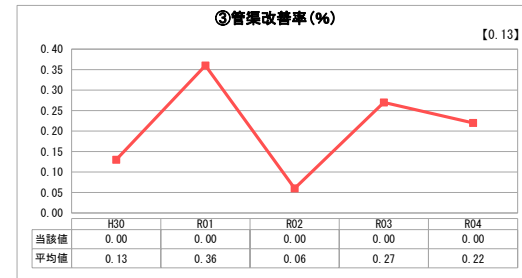
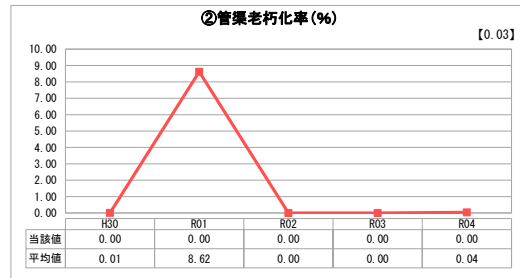
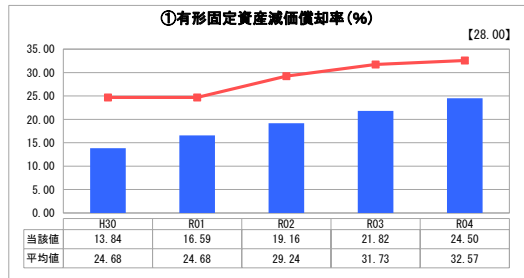
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
171,460	103.69	1,653.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,443	0.52	2,775.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

佐倉市の特定環境保全公共下水道事業（以下、「特環」という。）について、施設は処理場に通じる管渠の一部で、市内に点在している。公共下水道事業（以下、「公共」という。）と特環は、一体の施設であるため、経営を分けておらず、経営状況は公共に準じている。経営を分けていないため費用など按分して数値を算出し、経常収支比率が100%となるように数値を調整している。

④企業債残高対事業規模比率
企業債残高がもともと少ないこともあり全国・類似団体平均と比較し良好な数値を示している。

⑦施設利用率
当市は処理場を持たない。

⑧水洗化率
前年度からほぼ横ばいの状況。引き続き、佐倉市上下水道ビジョンに基づき、接続奨励などの実施により水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
法定耐用年数を迎えた管渠は無いが、今後、償却率の増加が見込まれる。

②管渠老朽化率
現在のところ、法定耐用年数を迎えた管渠はない。

③管渠改善率
現在のところ、法定耐用年数を迎えた管渠もなく、更新や修繕などの対応もない。

全体総括

管路等下水道施設の老朽化が進行していくことが予想されるため、下水道事業全体の経営状況を注視し、定期的に事業量の見直しや使用料のあり方等についての検討も図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。